

正徳館

だより



県立正徳館高等学校
長岡市与板町東与板 173
TEL0258-72-3121
令和5年12月22日発行

教頭より

『二学期を振り返って』

教頭 吉田 桃子

日頃より本校の教育活動に御理解と御協力を賜り感謝申し上げます。新型コロナウイルス感染症が五類に引き下げられて迎えた今学期、様々な制約が緩和されて生徒が活躍する本来あるべき姿の学校行事が実施できました。

【創ろう文化 自らの手で】

先に正徳館フェスティバルを振り返ります。『破顔大笑』〜笑顔で満ちた祭りを作ろう〜をテーマに十月二十八日(土)、二年ぶりに入場者を制限せずに開催され、百八十九人の来場者がありました。三年生をリーダーに

学年縦割りで

七月から準備した「グループ企画」と「校内装飾」により、幅広い年齢が参加できるくじ引きやスタンプラリーが催され、ポスターや装飾が華やかに校内を彩りました。

二年生はキャリアガイダンス、「長岡学」の研究成果として、長岡地域に関する課題と背景調査に基づく考察を班ごとにスライドにまとめて発表しました。一年生の芸術選択科目の音楽選択者が校歌を合唱し、美術/書道選択者が春から描き/書きためた個性あふれる創造的な作品を展示しました。

復活した後援会企画の農産物等の販売は大変好評でしたし、馬頭琴奏者オユニビレグ・オユニバートルさんの演奏によって大体育館が異国情緒あふれる空気に包ま

れました。最後は馬頭琴の音色に合わせて本校生徒が校歌を合唱しました。全校で校歌を合唱するのも久しぶりのことでした。

【豊かな人間性と社会性を育む取組】

また今学期は、昨年度オンライン対面で実施した一年生保育実習を実際の訪問実習とし、昨年度は一日バス研修旅行としたものを東京方面への二泊三日の二年生修学旅行として実施することができました。二年生インターシップを含む多くの体験的な活動をおして生徒が社会的スキルの重要性を実感したり、身につけたりする機会に恵まれました。

今学期を振り返り、改めて保護者の皆様、地域の皆様の方面からの御支援に感謝いたします。教職員一同、生徒と共に魅力ある学校づくりに努めて参りますので、より一層の御協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

PTA会長より

『正徳館フェスティバルを終えて』

PTA会長

今年度も無事に正徳館フェスティバルを開催していただき、ありがとうございます。開催に際しまして、生徒及び教職員の皆様及びごとうマルシェに御協力を賜りました事業者の皆様に心から感謝申し上げます。

今年度の正徳館フェスティバルは『破顔大笑』〜笑顔で満ちた祭りを作ろう〜というテーマにて開催されました。過去数年は縮小傾向で開催されましたが、今年はいよいよこれまでにない盛り上がりこの企画が目白押しで大変楽しませて頂きました。各部活動展示、茶道部「和」の空間お抹茶、華道部「生け花展」、理科部「手回し発電機で電車を走らせよう!」においては様々な趣向を凝らした展示でした。終始笑顔が耐えなかつたステージ企画カラオケ大会・イントロクイズ・ビン

ゴ大会どれもテーマに沿った素晴らしい企画であったと感心しました。

日頃の授業ではない非日常的なイベントは各々の生徒自らが意見を出し合い集まった意見をまとめて成功に向けて開催するという意義があります。今回の開催も生徒全員の力を存分に発揮出来ていたと感心しました。

最後には馬頭琴演奏をオユニビレグ・オユニバートルさんに披露していただき、変わった音色の楽器を体験して異文化に触れるきっかけになったのではないのでしょうか？

三年生は最後の正徳館フェスティバルとなりましたが、一、二年生はこの文化を絶やすことなく来年度以降も広く地域を巻き込んで開催していただきたいと思います。



正徳館 フェスティバル 企画代表者より

『正徳館フェスティバルを
振り返って』

三年 装飾代表者

私は、来場いただいた皆さんの記憶に残るような飾り付けをしたく、今回のフェスティバルで装飾リーダーをしました。私はあまりリーダーという立場に立ったことがなかったのですが、初めての頃は、チームの意見をまとめることができずギスギスした空気がなったり、進行もスムーズに行えなかったりして、挫折してしまいそうになったこともありました。友達が私を笑わせて励ましてくれたおかげで、最後まで諦めないうでやろうと思えました。今までの行動を改善するために、先生方に人をまとめるためのアドバイスを聞き、今回のコンセプトを明確にし、一人ひとりの飾り付けのアイデアをまとめ、進行をスムーズに行えるよう事前に

原稿を作ったりしました。そのおかげで、チーム全体が集まった際、先輩たちにわかりやすく説明することができたと思います。しかし、後悔したこともありました。フェスティバル前日になるまで、

実際の掲示場所の位置確認をしていなかったため、窓に紙を貼り付けた際に、窓枠からはみ出して、見栄えが悪くなるなど予想もしていません

ことが起きました。今回こうなってしまったのは私の確認不足でも後悔をしています。次からはこのようなことが起こらないよう注意していこうと思えました。大変なこともありましたが、先輩たちと協力して物事を進めていったので、友人たちと



の仲を深めることができ、忘れられない思い出ができました。

『正徳館フェスティバルを振り返って』

三年 理科部

文化祭は、学校生活の中でも特別な一コマであり、もちろん今年の文化祭もそのひとつでした。今回理科部では、木炭電池と鉄道模型の出し物をしました。

木炭電池では、科学の不思議な世界を他の生徒や来場者の方々に楽しんでもらいました。木炭という身近な素材から電力を得る仕組みは、観覧者に驚きと共感をもたらしたと思います。複雑な科学原理が、身近な素材を通じて理解しやすく伝えられ、その瞬間、私自身も理科の面白さを感じることができました。

また、鉄道模型の展示では、手回し発電機を使い、電車を動かす仕組みにしました。体験する皆さんが友達と競い合っている所を多く見ることで、良かったです。



この文化祭でも理科部の出し物は、学びと楽しさの良いとこ取りができたと思います。科学の原理や技術の進歩は堅苦しいものではなく、身近で楽しいものであることを感じさせてくれました。来場いただいた方々には、これらの出し物を通じて、日常生活に潜む科学や技術の奥深さを垣間見ていただけたと思います。

『正徳館フェスティバルを振り返って』

三年 茶道部

今年是我们たち三年生にとって、高校生活最後の正徳館フェスティバルでした。私は

高校に入学してから三年間、茶道部の活動を続けてきました。このフェスティバルでのお茶会は茶道部部长として皆様の前でお手前を披露する最後の場となるため、今まで以上に丁寧な作法と所作でお茶を点てることを心掛けました。この日のために部員全員で準備をし、お手前の所作を練習してきました。

私はお茶会一席目の最初にお茶を点てました。正客は私の母でした。母は毎年このフェスティバルを楽しみにしていて、茶道部のお茶会にも毎回きてくれました。母は昨年までの私は緊張のあまり上手くできていなかったけれど、今年は流れるような所作できれいに出来ていたと言ってくれました。今年私の姉がフェスティバルに初めて来場しました。私達姉妹は小学生の頃から茶道を習っていたため、作法を学んでいたことにより、お茶をいただく機会があった際にはとても役立ちました。これからも茶道を続けていきたいと思っています。

今年が生徒玄関前で餅つきや、きのこ汁の販売が行われました。私は楽しみにしていたので両方とも味わいました。つきたてのお餅はとても柔らかく、きのこ汁も具沢山で美味しかったです。どちらも好評につき、早々に売り切れとなってしまいました。与板地域の皆様と共にフェスティバルを楽しく開催することができて、とても良かったです。



在校生の皆さん、正徳館フェスティバルをこれから盛り上げていってください。

『正徳館フェスティバルを振り返って』

二年 華道部

私は華道部として本番前から準備を進めてきました。普段の部活から正徳館フェスティバルに向けた作品を考えていきました。自分が使いたい花材や花器を選び、スケッチをしていきました。最初はイメージが思いつかなくてなかなか大変でしたが、だんだん作りたいたい作品が分かってきて良かったです。

そして、今年が部員が二人で少ない状況でしたが、少人数を生かして初めて共同作品を作ることができました。今までは自分一人の作品しか制作をしていなかったのですが、どんな感じになるのか想像できなかったけれど、それぞれ好きなように生けることができたので大変良かったです。

また、今年は去年よりも納得できる作品が全体的にもできました。沢山活動していくうちに、レベルアップも



てきて花も好きになり、去年は初めてで花の種類もよく分からなかったけれど、様々な花材を知って覚えられたので、知識も増えて良かったです。今回のフェスティバルでは赤色のガーベラや、かすみ草を入れて自分の好きな花で作品を完成させることができ、嬉しかったです。

最後に、今年の正徳館フェスティバルも皆が協力しながら楽しめた行事だったので良かったです。来年は三年生としてよりよいもの出来るように頑張りたいです。

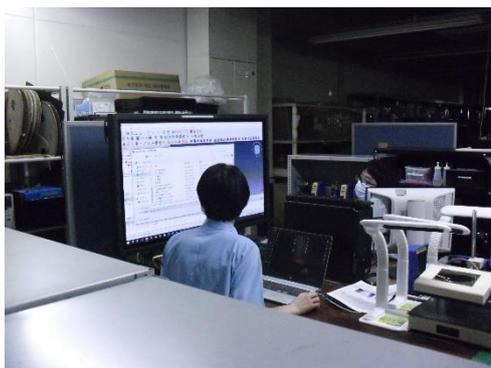
その他 行事等報告

『インターンシップで学んだこと』

二年生

私は、このインターンシップをおして学んだことは多くありました。

私は、インターンシップを行う前は全然働くという概念がありませんでした。働くとはいえど自分のためにする、他人の役に立つという実感がわきませんでした。正直、私はあまりインターンシップには参加したくなく、参加したとしても何も学ぶことができないまま終わるのだろうと思っていました。しかし、実際にはこの三日間充実したものでした。インターンシップの中で体験があり、私はその時に担当者の人にいくつか質問をしてみました。働きがいや、働いていて楽しいことやなぜこの仕事を選んだのか聞いて、自分の将来や人生の先輩から聞くことは、とても大事で勉強になり



ました。あとは、体験してみると意外と働くことは楽しく、時間なんてあっという間に過ぎてしまいました。三日間本当に経っているのだろうか？と思うくらい時間の流れを早く感じました。

私は、この三日間のインターンシップで学んだことは働きがい、働くことの楽しさについてです。このことを忘れて今後の自分に最大限に活用していこうと思います。

『修学旅行を終えて』

二年生

修学旅行を無事に終えることができて良かったです。一日目の印象に残ったところの一つ目は、スモールワールドZOKYOのミニチュアの再現度です。ミニチュアの街中の建物や人などが細かく再現されているところや、アニメなどとのコラボで作成されたものが見えて楽しかったし、所々で動いて再現する所もあり、より興味が湧き、ずっと見ていたかったです。

二つ目は、チームラポプラネッツTOKYOの神秘的な風景が良かったです。そこでは、色々なコーナーをまわってみて、綺麗な所もあれば、不思議な所もありましたが、私は「苔の庭園」と呼ばれる苔が敷き詰められた上に銀色の楕円状の球が置かれていて、そのうえ、霧がかかっている、とても神秘的で魅力的でした。

二日目は、東京都内の班別自由行動です。私達は、品川水族館、お台場と東京駅に

行きました。そのなかで、楽しかったのは、お台場にある実物大のガンダム立像を見に行ったことです。自分たちだけで目的地まで行き本物を見られたので、もうテンションが上がってしまい、写真を四方八方から撮りました。周りの人に迷惑がかからないように気をつけて撮ることができて良かったです。

三日目の最終日には、東京スカイツリーに行き最上階まで行った際に、これまで行った都庁や浅草などをはじめ、東京の街中の景色が見られて良かったです。

今後、進学や就職に向けて、この経験を是非ともつなげていきたいです。



『保育実習を振り返って』

一年生

私は二回の保育実習で、どちらとも二歳児クラスを担当しました。

一回目は、保育士さんからいろいろな言葉がけの仕方を学びました。二回目は自分たちで園児達が楽しめる遊びを用意していききました。紙皿にシールを貼って一人ずつお魚を作りました。遊ぶ時は言葉がけに気をつけて常に笑顔で接することを心がけました。園児みんなをまとめたり、わかるように説明するのが難しかったです。園児達は遊びに興味を持って楽しんでくれました。園児達のたくさん笑顔を見るのができて嬉しかったです。保育実習全体をとおして感じたことは、結果ではなく過程を褒めることの大切さです。保育士さんは園児を褒めることをとても大切にしていました。しかしただ結果だけを褒めるのではなく、「ここが上手だね」など、過程のところで褒めていくことに気がつきました。

園児のチャレンジする気持ちや努力を見て褒めることが大切だと学びました。



『保育実習を振り返って』

一年生

私が今回の保育実習で担当したのは五歳児クラスです。みんなでマジカルバナとジャンケン大会をしました。最初はルールを理解してくる心配でしたが、とても盛り上がってくれて楽しく交流できました。

二回実習に行って感じたことがあります。まず、子どもに分かりやすく説明するのは大変だということ。行く前に説明の言葉をいろいろ考えました。次に、一回目に担当した一歳児と比べ

ると、五歳児はとても大人びた感じを受けました。四年もなっていてとても驚きました。

大変だったことは、みんなが一斉に話しかけてくるので、誰と話せば良いのか、対応の仕方が分からなかったことです。しかし、子ども達も笑顔で話しかけてくれて非常に楽しかったし、うれしかったです。

保育実習をとおして、以前より保育士という職業に興味が増えました。また機会があれば子ども達と交流したいと思いました。

新生徒会役員

十一月二日に生徒会役員選挙公示、十一月十四日に生徒会役員選挙が実施されました。新役員は次のように選出されました。新体制への協力をよろしくお願いします。

会長 二年生
副会長 二年生